

# 会議結果報告書

1	会議名	戸別収集実験事業に関する説明会（松浪地区）
2	日時	令和7年2月11日（火）10:00～11:00
3	場所	兵金山会館
4	出席者	（資源循環課）森岡課長補佐、八幡主事 （環境事業センター）富田所長、高橋技能労務副主任 （松浪地区）参加人数：26人
5	内容	<p>資料に基づき、戸別収集実験事業に関する説明会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 敷地内に2つの住宅があり、1つは貸家である。2つに分けて出しても良いか。 → 敷地内で1つの場所にまとめて出していただきたい。特段の事情がある場合は、個別に相談いただきたい。</li> <li>● 燃やせるごみを月に1度20ℓの袋を出しているのだが、ネットを用意しようかと隣に住んでいる方に相談したところ、2軒まとめて出すことになっている。この場合。道に面しているところに出せば良いか。また、記名をする必要があるか。 → 2軒まとめて出すのではなく、各戸の敷地内の道路に面した場所に出していただきたい。記名していただく必要はないため、戸別収集にご協力いただきたい。</li> <li>● 落ち葉が多量に出る時期に、道路にはみ出さないように出すことができるのだが、火曜日と金曜日で分散して出した方が良いか。 → 週の前半にごみが多く出される傾向にあるため、多量に出る場合は、火曜日と金曜日に分散して出していただきたい。</li> <li>● 落ち葉にネット等はかける必要はあるか。 → 鳥獣対策や風対策が不要と判断できる場合は、ネット等をかける必要はない。</li> <li>● ごみを毎週出さなければならないか。 → 毎週、毎回出す必要はない。</li> <li>● 月に数回ごみを出すだけなのに、戸別収集実験事業の対象となるか。 → 排出頻度は少ないかもしれないが、戸別収集をするため、戸別収集実験事業の対象である。</li> <li>● 戸別収集は、高齢者などのごみを集積場所まで運ぶことが困難な人にとっては、良い方法であると考え。だが、実験という名目で、開発時に専用のステーションを設けている方々も、各戸でごみ出しをしなければならないのは、理解できない。収集する側からしても合理性に欠けるところがあると考えられる。 → 戸別収集は収集効率が低下するなど非合理的な収集方法であるが、戸別収集による影響や効果を適切に把握させていただくために、各戸でのごみ出しにご協力いた</li> </ul>

だきたい。

- 実施期間が1年間ということであるが、実施期間以降も戸別収集を継続することを考えているか。1年間、対象エリアの方々にポリバケツ等の購入など市の事業に協力させて、「戸別収集の効果が得られなかった」という理由で元の収集方法に戻すとなった場合に、市民の協力はどうか。

→ 戸別収集を実施することを検討している中で社会実験を実施するが、戸別収集による影響や効果が確認できなかった場合においては、ステーション収集に戻すということも考えている。

- 近隣自治体で戸別収集を実施していて、その様子を分析していると思うが、そこで確認できたことを白紙にして、検証する必要があるか。

→ 先行自治体の状況を確認しているが、本市において戸別収集による影響や効果があるか確認をする必要があると考えているため、社会実験を行う。

- 他市の事例もある中で、実験という形で戸別収集を実施することが気にならない。

→ ご意見として賜る。

- 実施期間中に行うアンケートは、いつ頃実施予定であるか。また、その結果はいつ頃公表する予定であるか。

→ アンケートに関するスケジュールは確定していないが、戸別収集によるごみ出しに順応し慣れてきた頃にアンケート調査を実施することを考えている。結果の公表については、社会実験の検証結果と併せて、令和7年度後半にお知らせする予定である。

- 仮に、令和8年4月以降にステーション収集に戻すとなった場合に、ごみ集積場所申請書を再度提出する必要があるか。

→ 現時点においては、必要ないと考えている。ごみ集積場所の位置を変更する場合は、お知らせいただく必要があると考えている。

- 現在、利用しているごみ集積場所が、1軒のお宅の目の前で申し訳ないと感じており、戸別収集を何年も前から要望しており、戸別収集が始まるということでありがたいと感じている。ただ、社会実験は市のための実験なのか、市民のための実験なのか考えていただきたい。市が戸別収集の影響や効果を検証したいがために実施する社会実験のように感じてならない。

→ ご意見として賜る。

- 戸別収集を開始してみて、課題を解決しながら継続して実施していくという進め方が良いのではないか。課題があったから、元のステーション収集方法に戻すというのは、税金を納めている者として、憤りを感じる。

→ 本事業の進め方について、様々な考えがあると思うが、戸別収集が現状のステーションで起きている課題を解決するための一つの手法であると考え、実施するものであるため、ご協力いただきたい。

● 現在、利用している集積場所は開発で設置されたものであり金属のボックスが、設置されている。時々分別されずにごみが出されることがあるのだが、4月以降、戸別収集となり金属のボックスが使用されなくなると思うが、そこにごみ出しがされた場合、どうなるか。

→ 燃やせるごみは地域のステーションでの収集は行わないが、それ以外の品目を収集するステーションであれば、その収集時に啓発シールを貼る。燃やせるごみのみを収集しているステーションに出されてしまい、出し直し等がされない場合は、環境事業センター業務担当までお問い合わせいただきたい。

● 鳥獣対策の方法について、現在、ステーションで何かあった場合については、近所の方が綺麗にするということになっているが、戸別収集の場合、各戸の責任になるか。全員が全員対応をすることができるわけではないと思うが、どのような対応を取られるか。

→ 状況にもよると思うが、敷地内で問題が生じてしまっている場合については、ごみを出された方に対応していただく必要がある。鳥獣対策の方法に問題があり、改善を促す必要がある場合については、市から行う予定である。これまでと同様に地域でサポートをし合いながら行なっていただくのも一つであると考えている。

● 藤沢市の収集職員の様子を見てみると、非常に大変そうな思いをして行っているが、市民の立場からすると、やっと戸別収集が始まるということで嬉しく思う。戸別収集を実施していく中で、様々な問題が生じることと思うが、それらを乗り越えて継続していただきたい。

→ ご意見として賜る。

以上